

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

一番大切にしていること

新潟県金融広報委員会
鈴木 紀子

「金融教育って何？」私が事務局を担当したばかりのころ、学校の先生からこのように言われることも少なくありませんでした。

あれから5年…。「一人でも多くの先生に金融教育を認知してほしい」という強い思いから、県内各地の

教育委員会や校長会などを訪問し、可能な限りPRに努めてきました。

とりわけ、金融教育研究校については、毎年、小・中・高への委嘱を目標に掲げ、それを実現してきたことや、過去に金融教育に携わった先生方が「今の子どもたちにとって金融教育こそ必要だ」と「金融教育研究グループ」を立ち上げてくださったことは、これまでの地道な活動の成果だと感じています。

こうした金融教育の普及活動の基盤となっているのは「信頼と誠意」であり、これは、私が一番大切にしていることだ。

ていることでもあります。この活動の基本は「人」であり、これを言い換えると、関係者間の信頼関係です。これがなければ、金融教育を学校現場に浸透させていくことはできません。学校などに講師として出向いただく金融広報アドバイザーの方々や、学校現場の先生方のご理解とご協力があつてこそ活動が成り立っており、そこには「誠意が不可欠」と自らの経験を通じて強く感じています。

これからも、一人でも多くの先生に「金融教育に取り組んで良かった」と思ってもらいたいです。



よ」と言っていただけのように、そして未来ある子どもたちが「生きる力」を身に付けるための一助になれるように、「熱い思い」と「信頼と誠意」をモットーに頑張りたいと思います。

情報発信！知るぽると講座

和歌山県金融広報委員会
瀬崎 智珠子

「次回もぜひ引き続き開催してほしい」「大変参考になりました。楽しかったです」と嬉しい言葉をいただきました。

昨年、子育て世代を対象とした「暮らしの達人！知るぽると講座」に参加していただいた方からのお声です。

当委員会では例年、連続講座を開催しています。今回は、子育て世代の方が参加したいと思っていたいただけるような内容にしたいと思い、金融広報アドバイザーにアドバイスをいただきましたが、これからは必要となる教育費や保険などの生活設計や子どもに携帯電話を持たせる前に知っておきたい基礎知識、また「ものを大切にするところ・感謝するところ」を育む教育と通じる食育も取り入れたテーマを設定しました。さらに初めての試みとして一時保育を設けました。

その結果、定員を超えるお申込

をいただき、また8割近くの方が一時保育を利用されました。4回にわたる講座でしたが、どの回も熱心に耳を傾け、メモをとる様子が印象的で、講師陣のお話に笑いあり涙ありの講座となりました。

これからの皆さまのお役に立てる情報をどんどんお届けしていきたいと考えています。

その為にも私自身がアンテナを高くして色々な情報を吸収できるように、色々な方との出会いやつながりを大切にしながら、金融広報活動や金融教育に取り組んでいきたいと思っております。



左が金融広報アドバイザーの渡辺富美さん、右が瀬崎さん